

令和 2 年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	村石 孝子
全体計画							経費区分	実施計画事業費		内線	246-2104	
事務事業名		4277 学校給食センター施設整備事業										
所 属		300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策		02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費										
	事業	030000 学校給食センター施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
安全な給食を提供するため、施設・機械器具等の整備を計画的に行う。						昭和51年建設の給食センターを、現在の衛生基準に則した新しい施設に建替える。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
新センター建設候補地の地形測量とボーリング調査1箇所実施。 ボイラー貯湯槽の修繕、備品購入（コンテナ1台、パンラック等）を実施。	新センター建設に向けPFIの可能性調査・測量・地質調査・補償調査を実施。 備品購入（調理場棚1台、冷蔵ショーケース1台、フードスライサー1台、コンテナ1台）を実施。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
新センター建設に向けPFI手法による整備運営事業を進めた。PFIアドバイサリー業務の委託を実施。立木等の補償、用地購入を実施。造成・上下水道の設計を実施。	新センター建設に向けPFI手法による整備運営事業を進め事業者決定。PFIアドバイサリー業務・モニタリング業務の委託を実施。一次造成・上下水道の工事を実施。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
PFI手法による整備運営事業を進めた。水路改修等関連工事を実施。	2学期より新センター稼働予定。

指標名	新センター建設進捗状況：工事費					
算式	実施した工事の総額÷必要な工事の総額×100					単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標	0	0	82	95	100
	実績	0	0	82	95	
指標選定の理由	P F I 事業以外で算出。工事費等 (H30年度実施額 54,238,680円+H31年度支出済額 11,389,172円+H32年度繰越明許 9,996,000円+6月補正 4,000,000)					
最終年度目標の根拠	令和2年度100%とする。					
指標名	新センター建設進捗状況：測量・補償調査・土地価格調査・設計委託等					
算式	実施した調査費用の総額÷必要な調査の総額×100					単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標	11	28	28	100	100
	実績	11	28	28	100	100
指標選定の理由	P F I 事業以外で算出。測量・補償調査・土地価格調査・設計委託等 (H27年度実施 測量・土地価格調査 984,960円+H28年度実施 1494720円+H29年度 5,788,720円+H30年度0円+H31年度498,960)					
最終年度目標の根拠	建設のための調査等の完了を100%とする。					
指標名						
算式						単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		14,520	2,218,947
特定財源	国庫支出金	0	227,437
	都道府県支出金	0	0
	地方債	4,500	1,329,900
	その他	2,000	630,000
一般財源		8,020	31,610
人員数 (人)	正規職員	2.0	2.0
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	1.0	1.0
人 員 コスト	正規職員	14,530.0	14,530.0
	嘱託職員	2,829.0	2,829.0
	臨時職員	1,298.0	1,298.0
	計	18,657.0	18,657.0
市民一人当たりの経費		0.6	42.8
総額		33,177.0	2,237,604.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	499	水路改修設計業務 499
15節 工事請負費	11,390	水路・舗装工事 11,390
19節 負担金補助及び交付金	1,857	下水道受益者負担金1,857
その他	774	備品購入 (学校コンテナ室用棚)

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	26,128	設計委託1,500、PFIモニタリング24,628
14節 工事請負費	52,115	現センター解体工事50,000、その他2,000
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,140,704	家屋購入費 2,140,704

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	現行衛生管理基準に沿った施設が必要である。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	PFI方式を活用して整備、運営をする。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	悪化
評価コメント	PFI方式により効率性向上に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、サプライチェーンの分断により、工期が延長となった。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

施設整備は順調に進んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、サプライチェーンの分断により、工期を延長することになった。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
施設整備を完了させ、PFI方式の特性を生かした維持管理運営を行う。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
県内初の学校給食センターPFI事業の計画に沿って、事業を進める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	